

古着 de ワクチンに参画し、社員から衣類などを集めているアベヤスの橋本代表取締役



途上国の子ども支援

古着 de ワクチン
アベヤスが参画

北上

総合経営コンサル
ティングを提供
する北上市本通り

のアベヤス（橋本竜博代表取締役、社員24人）は、古着の再利用を通して発展途上国の子どもたちにワクチンを寄付する「古着 de ワクチン」に参画している。同社の社会貢献活動の一環として初めて参画し、社員から不要となった衣類などを集めている。

古着 de ワクチンは、日本リユースシステムが手掛ける事業。要らなくなった服などを専用の袋に入れて送ることで、衣類の再利用や雇用創出につなげ、そこで得られた資金を途上国の子ども

たちのワクチン費用に充てる仕組みだ。

同社は1923（大正

12）年に創業。ESG（環境・社会・企業統治）経営を掲げ、市社会福祉協議会のフードバンク事業活動を支援しているほか、市内の子ども食堂に文房具を寄付するなど地域貢献活動に力を入れている。

同事業の取り組みに共感した橋本代表取締役（54）が中心となって、2025年12月23日から社内に専用の袋を設置。袋はTシャツが約120枚入るサイズで、スーツやスウェットなどが集まり、同27日でほぼ満杯となっている。

衣類以外にもアクセサリやバッグ、学校の制服なども回収できる。同

社によると、手軽に持ち込めるため社員からも好評という。

今年9月ごろまで衣類を集める予定だ。橋本代表取締役は「古着 de ワクチンをPRしながら協力する企業を増やしていく、県内で支援の輪が広がってくれたらうれしい」と願っている。



2026年
（令和8年）
1月4日
（日曜日）